

▽ 岩田直子 准教授 IWATA, Naoko



学 科： 人間福祉学科

担当科目： 障害者に対する支援と障害者自立支援制度ほか

学歴等のプロフィール

- ①【主要学歴】 ②【学位】 ③【所属学会】 ④【主要な社会的活動】

- ① 明治学院大学大学院社会学研究科博士前期課程、リーズ大学大学院・社会学社会政策学部MA 修了
- ② 修士
- ③ 障害学会、社会福祉学会、国際開発学会、沖縄地域福祉学会ほか
- ④ 障害学会理事、沖縄県社会福祉協議会評議員、沖縄県社会福祉協議会ボランティア市民活動支援センター運営委員、NPO法人まちなか研究所理事

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
<b>1. 教育活動・方法の 実践例</b> 1) 障害者に対する支援と 障害者自立支援制度	2011年9月～2月	後期、2～4年次、形式：講義、 専門科目、2 単位、登録者数113人。 実践例：“沖縄”の障害者福祉の特徴や課題について学生と共に考える。
2) 障害学	2011年4月～8月	前期、2～4年次、形式：講義、専門科目、2 単位、登録者数：106人 実践例：障害の社会モデルの視点から社会や文化を問い直している。
3) 現代社会と福祉	2011年9月～2月	通年、2～4年次、形式：講義。専門科目、4 単位、登録者数128人。 実践例：歴史を踏まえつつ、現代社会の現状と課題についてとりあげている。
		通年、2～4年次、形式：演習。専門科目。

4) 社会福祉相談援助関連演習(相談援助演習、相談援助実習指導)	2011年4月～2012年2月	実践例:社会福祉実習に関わる演習。相談援助演習では施設体験学習を行っている。相談援助実習では、社会福祉実習で得た経験を共有している。
5) 専門ゼミ(専門演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文演習)	2011年4月～2012年2月	通年、2～4年次、形式:演習。専門科目。 実践例:グループ研究、課題研究、卒業論文に取り組むと共に、研究成果を広く伝える。年度末には、全ての学年のゼミ学生が一堂に集結して「課題研究卒論発表会」を開催している。
<b>3. 学生支援活動</b>		合格者のつどい
1) 学生支援 入学前オリエンテーション 障害学生支援 人権委員会	以前から 以前から 2009年4月～現在	大学生生活全般の支援方法を検討 キャンパスハラスメントの予防等
2) サークル活動 顧問	以前から	ボランティアサークル、手話サークル、ノートテイク、  まちづくりNPO
<b>4. 学外での主な活動</b>		学会運営
1) NPO法人まちなか 研究所理事	2004年～現在	
2) 障害学会理事	2011年10月～現在	
3) 沖縄県社会福祉協議会評議員	2011年～現在	
4) 沖縄県社会福祉協議会ボランティア市民活動支援センター運営委員	2007年～現在	障害理解教育(Disability Equality Training)を実践。
5) 沖縄県社会福祉協議会福祉教育セミナー講師		

## 研究業績等

### 【 主要論文及び主要著書 】

#### 論文:

- ① Japanese Independent Living Movement – The Struggle for New Step Toward Real Equality and Right Based Society- (日本における自立生活運動の方向性に関する一考察～真の平等と権利に基づいた社会に向けて)、沖縄国際大学人間福祉研究第7巻第1号(2008年)

② Simulation Exercises in Disability Awareness Training: Reinforce the Limitations of Conventional Individualistic Approaches to Disability (障害疑似体験が伝えること～障害理解教育との比較を通して)、沖縄国際大学社会文化研究第9巻第1号(2006年)

③ Conventional Professionally Led Community Care Type Service: Expectation to Paradigm Change(専門職主導によるコミュニティケア:パラダイム転換の可能性)沖縄国際大学人間福祉研究第4巻第1号(2005年)

共著:

① 志村健一、岩田直子編著(2008)『シリーズベーシック社会福祉4: 障害のある人の支援と社会福祉～障害者福祉入門～』、ミネルヴァ書房。

## 研究分野

障害学、障害者福祉、NPO、

## 【Eメール・ホームページ等】

iwata@okiu.ac.jp

平成23年10月6日現在